

秋田市・東京大学高齢社会総合研究機構(IOG) 共同事業
生活支援体制整備事業研修会 兼 ワークショップ報告会

超高齢社会を自分らしく暮らそう

～ 地域づくりと健幸(康)づくりとの関係を考える ～

平成28年3月18日(金)

中央シルバーエリア(御所野) 多目的ホール

秋田市と東京大学 IOG は
市民のみなさんと、これからの
自分の暮らしと地域のことを考え
こんな活動を提案します!

新しい
居場所づくり

ふれあい
サロン

簡単な
生活支援

コミュニテイ
ビジネス



東京大学 IOG
後藤 純先生

くわしくは、裏面で!

日時：平成28年3月18日（金）

場所：中央シルバーエリア(御所野) 多目的ホール

プログラム

午前 10時 開会

参加無料

先着
100名

●趣旨説明(秋田市長寿福祉課)

●後藤先生によるミニ講義と地域の特徴分析結果報告

「自分のやりたいことが、健幸（康）と地域をつくる」

・地域包括ケアシステムと最期まで安心して暮らせる地域づくり

・地域づくりは健康づくり・介護予防につながる

・「つながりたいけど、しぼられたくない」気軽に活動をはじめるコツ

・秋田市ならではの次世代の担い手・リーダーを育てる工夫

●モデル地区での活動報告

「おらほの地域は、こんなところ！」

・地域の資源と課題を分析！ 5年後・10年後の暮らしとおらほの地域

・発見、戸惑い、悩み、希望！ ワークショップ参加者による報告

●意見交換

「住み慣れた地域で暮らしつづけるには？」

・若い世代が自然に集まる！ 魅力的で新しい居場所を考える

・心身が弱っても通える！ ふれあいサロンを発展させる工夫を考える

・信頼やなじみの関係をどうつくる？ 住民同士による生活支援サービス

・どうしたら、本人が望めば最後まで暮らせる地域になれるのか？

●28年度 of 取組(まずは「自分のために」最初の一步を！)

正午 閉会

講師紹介

後藤 純 東京大学高齢社会総合研究機構 特任講師

1979年群馬県生まれ。

東日本大震災の被災地をはじめ、全国各地でコミュニティづくりにかかわる。

平成27年度から秋田市が掲げる「エイジフレンドリーシティの実現」を目指して、

元気な高齢者(アクティブシニア)の発掘や最期まで暮らせる地域社会の開発などの共同研究に携わる。

【問合せ先】秋田市長寿福祉課

電話 018-866-8760